

## 地域連携プログラム（Local Partnership Program, LPP） 実施要項

### 1. 趣旨

地域連携プログラム（LPP）は、和歌山大学観光学部に在籍する学生が、地域の方々との連携・協働により、地域の課題解決に向けた活動や調査等に取り組むことを通じて、観光振興や地域再生の実践方法について現場で学ぶことを目的とした観光学部独自のプログラムです。

観光学部教員と受け入れ地域が連携して活動計画を作成し、学生を募集して活動を実践する「連携教育 LPP（Lゼミ）」\*と、学生が主体となり、地域と連携しながら活動を実践する「学生主導 LPP（L活）」の2種類があります。

\* 連携教育 LPP（Lゼミ）には、地域から活動内容を公募する「地域公募タイプ」と、観光学部教員が地域での研究活動等の一部をプログラム化する「教員申請タイプ」がありますが、ここでは「地域公募タイプ」について説明します。

### 2. プログラムの仕組み

#### 【Lゼミ】

観光学部の教育カリキュラムの一環として、学生が観光振興や地域再生の現場を体験しながら、地域について学ぶことのできるプログラムを計画し、地域の関係者（行政、地域活動団体等）との連携・協働により活動を実践するものです。

地域（地方公共団体等）から活動内容を公募し、担当希望教員の承諾が得られた場合、担当教員と地域の受け入れ担当者が連携して年間の活動計画書を作成してください。それに基づき、参加する学生の募集を行います。学生の応募があり、実施が可能であると判断されたプログラムを当該年度実施するプログラムとして認定します。

学生の応募が定員に大幅に満たない場合や予算が確保できない場合には、実施に至らないことがあります。また、プログラム運営の都合上、同一地域からの複数のプログラムの申し込みはお受けできない場合があります。

Lゼミのプログラムの活動期間は2年間（ただし、2021年度以前からのプログラムは当初計画の終了予定年度まで）ですが、年度ごとに活動計画書の作成・学生募集・活動報告を行います（末尾の「実施フロー図」を参照）。

参加学生には、プログラムの活動時間に対して単位認定が行われます（「4.実施時間」の項を参照）。

なおLゼミは、L活に対して、学生との連携による活動経験のない地域向けの“スタート

アップ型プログラム”として位置付けています。

#### 【L活】

観光学部の学生が主体となって、地域の関係者との連携・協働により、観光振興や地域再生に関する活動を実践するものです。

地域（地方公共団体等）から学生と取り組みたい活動内容について申し込みをいただき、参加する学生の募集を行います。学生の応募があり、実施が可能であると判断された活動は、学生と地域の受け入れ担当者で連携して年間の活動計画書を作成してください。 それに基づき、当該年度実施するプログラムとして認定します。

L活のプログラムの活動期間の制限はありません。内容に即した期間の設定が可能です。年度ごとに活動計画書の作成・学生募集・活動報告を行います（末尾の「実施フロー図」を参照）。

活動に伴う、参加学生への単位認定はありません（「4.実施時間」の項を参照）。

なおL活は、期間が終了したLゼミから移行し、意欲を持った学生が主体性を発揮して活動する“グローアップ型プログラム”としての位置づけも想定しています。

### 3. 実施期間

学生の授業に支障のない期間での実施とします。実施時期としては、夏季休暇（8月下旬～9月末）が最もまとまって時間をとることができます。これらを考慮の上、活動計画書の作成をお願いいたします。

### 4. 実施時間

#### 【Lゼミ】

実施時間については、プログラムの内容によって柔軟に対応可能です。

学生には、プログラムの活動時間に対して単位を認定しますので、プログラム参加のための事前事後学習の時間を含め、トータルで30時間以上を確保する必要があります。事前事後学習については学内での実施も可能であり、事前事後学習と現地での諸活動との時間配分については、プログラム担当教員と地域との協議において確定することになります。

#### 【L活】

単位認定がないので、特に実施時間の設定はありません。

## 5. プログラムの費用負担について

プログラムの実施には、学生の交通費および現地での活動に係る諸経費が発生します。プログラムをご提案いただく際に、こうした費用負担が可能であるかをご検討ください。教員が同行する際の交通費・宿泊費・謝金等については、ご負担いただく必要はありません。

予算捻出に困難を伴う場合には、観光学部より予算措置を行うことができます。プログラムに対する学生の応募状況に鑑み、予算配分を行います。なお、学部予算には限りがありますので、地域で費用をご負担いただいた方が、プログラムの実施可能性は高くなります。

※学部予算は、学生の交通費や宿泊費、学生の活動に関わって発生する諸経費にのみ利用可能である点ご了承ください。

## 6. 教員の役割

### 【Lゼミ】

各プログラムには、年度ごとの活動計画書の作成、地域との調整、および学生の監督・活動支援等を行うため、少なくとも1名の担当教員を配置します。

### 【L活】

学生主体のプログラムと位置付けていることから、顧問（相談役）として教員を配置し、活動計画書や活動報告書などの確認・提出、活動支援等を行います。

## 7. 提案方法

2022年度は、新規のLゼミ・L活の申請受付は行いません。2023年度分は、改めてご案内いたします。

### 【Lゼミ（2021年度以前からのプログラム対象）】

担当教員と協議のうえ、同封の「地域連携プログラム（LPP）活動計画書」を作成してください。提出は、担当教員から行ってください。なお、活動計画書提出の締切日は4月13日（水）となっております。

活動計画書は電子データ（word形式）もご用意しております。ご希望の際は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

### 【L活（2021年度で終了となるプログラム対象）】

2021年度で終了となるLIPについては、その発展版プログラムをL活として申し込むことが可能です。同封の「地域連携プログラム（LPP）申込書」に必要事項を記入の上、下記申込書提出先までメール、FAX、郵送、いずれかにてお送りください。なお、申込書提出の締

切日は**4月13日（水）**です。

申込書は電子データ（word形式）もご用意しております。ご希望の際は、下記問い合わせ先までご連絡下さい。

#### 8. 実施プロセス

		Lゼミ	L活
<b>2022年</b>	<b>活動計画書（Lゼミ）／申込書（L活）の提出締切</b>	○	○
<b>4月13日（水）</b>	参加学生の学内募集開始	○	○
2022年5月下旬 ～2023年1月末	<b>実施プログラムの決定と地域への通知～順次プログラム実施</b>	○	—
	<b>活動計画書作成と提出～順次プログラム実施</b>	—	○
2023年2月初旬	観光学部予算の配分（必要に応じて）	○	○
	単位認定のための報告書類の作成と提出	○	—
	年度活動報告書の作成と提出	—	○
2023年3月末	LPP 合同報告会の実施（予定）	○	○
	<b>2022年度プログラムの終了</b>	○	○

※ 末尾の「実施フロー図」もあわせて参照ください。

#### 9. LPPに関する問い合わせ先、および各種書類提出先

（※ 書類提出時には、宛先および件名等のいずれかに「LPP」と明記ください。）

- 和歌山大学観光学部 観光実践教育サポートオフィス 地域連携担当  
電話／073-457-8553 FAX／073-457-8586  
Email tourism-er@ml.wakayama-u.ac.jp

■ 実施フロー図



